

## 9. 健康づくりの意識や取り組みの状況は？

市が行っている健康づくりの事業の中で、「利用（参加）したことがある」人が多いのは、「基本健康診やがん検診」（29.3%）が最も多い。「知っているが参加したことがない」人が最も多いのは、「健康まつり」などのイベント（64.5%）だが、このような催しについては、「今後、利用（参加）してみたい」という人も多くなっている（27.3%）。

市が行っている健康づくり事業の利用経験・利用意向

### 【一般市民】

(N=4,011)	利用（参加）したことがある	知っているが利用（参加）したことはない	そのうちものがあることを知らなかった	今後利用（参加）してみたい
ア) 生活習慣病予防や健康を増進するための講座や教室等	5.1%	54.8%	26.9%	23.5%
イ) 医師や保健婦・栄養士等による健康相談	8.0%	53.0%	23.9%	15.5%
ウ) 基本健康診査やがん検診等の生活習慣病に関する検診	29.3%	47.9%	11.4%	27.8%
エ) ママパパ学級や育児相談など子育てに関する教室や相談	9.1%	50.0%	21.0%	5.1%
オ) 保健婦，助産婦，看護士による家庭訪問	4.1%	45.5%	32.0%	4.2%
カ) 健康づくりに関する講演会等	6.2%	56.0%	21.9%	19.5%
キ) 健康まつり，歩け歩け大会，健康ウォーク等のイベント	9.1%	64.5%	12.2%	27.3%

\* 「無回答」は省略しています。

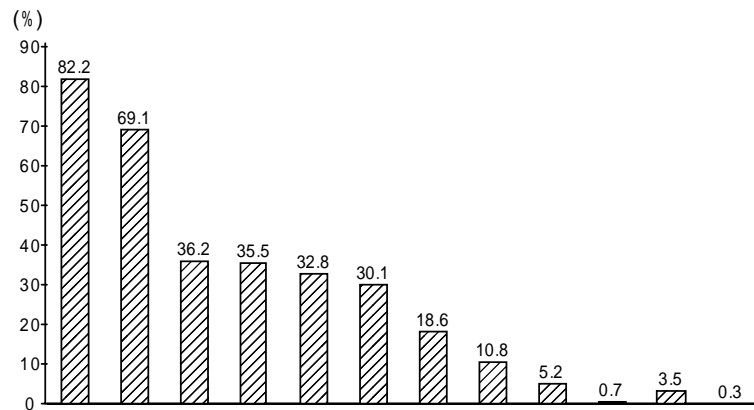
健康に関する情報源として多く利用されている媒体は、「テレビ・ラジオ」(82.2%)、「新聞・雑誌・本など」(69.1%)。

多く利用される媒体は、年齢によって異なっている。「医療機関」「市や県の広報紙・チラシなど」「市役所・保健所等が行う各種の事業やイベントなど」は、50～60代以降の中高年世代に多くあげられており、「友人・知人」は注壮年層、「学校・職場」は若年層に多くみられる。20～30代では、「インターネット」をあげる人も1割前後いる。

【一般市民】

健康に関する情報源 / 年齢

☑ TOTAL N=4,011

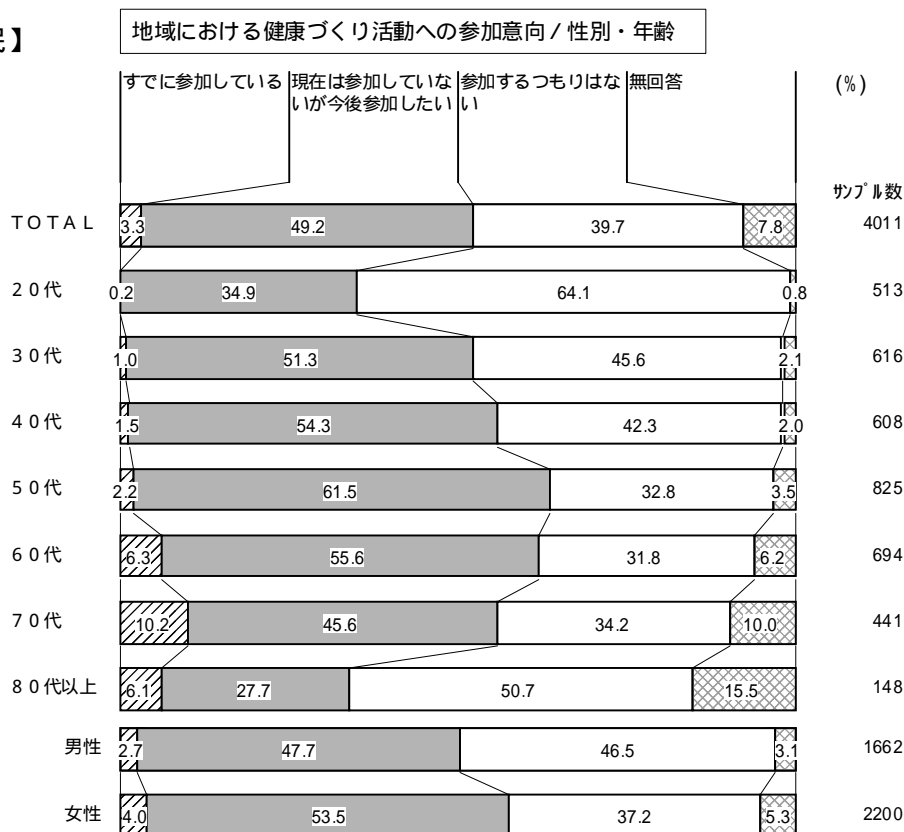


		健康に関する情報源 / 年齢												
		☑ TOTAL N=4,011												
		N												
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
		テレビ・ラジオ	新聞・雑誌・本など	医療機関	友人や知人	家族	市や県の広報紙・チラシなど	学校・職場	市役所・保健所等が行う各種	インターネット	その他	特にない	無回答	
0	TOTAL	4,011	82.2	69.1	36.2	35.5	32.8	30.1	18.6	10.8	5.2	0.7	3.5	0.3
1	20代	513	77.0	61.0	23.6	30.2	40.5	13.6	28.3	3.1	9.6	0.6	7.0	0.0
2	30代	616	81.7	76.0	29.5	34.4	36.5	25.0	27.4	7.0	10.6	1.0	3.2	0.3
3	40代	608	85.9	78.6	35.5	39.6	31.3	27.6	30.9	8.4	7.7	0.3	2.5	0.0
4	50代	825	85.5	76.0	38.7	43.0	31.2	35.8	21.6	10.2	2.8	0.7	2.4	0.2
5	60代	694	83.1	64.6	39.9	37.3	28.8	36.9	6.1	17.6	1.6	1.2	3.6	0.1
6	70代	441	80.3	57.1	46.9	27.9	32.7	40.4	0.7	18.8	0.9	0.2	3.2	0.7
7	80代以上	148	77.0	54.7	45.3	20.9	29.7	33.8	1.4	10.1	0.0	0.7	2.7	1.4

地域における健康づくり活動に「すでに参加している」人は、若年者ではほとんどおらず、70代で1割程度となっている。

「現在は参加していないが、今後参加したい」とする人の割合は、年齢が上がるにつれて高くなり、50代が6割以上と最も高くなっている。男女別では、女性の方が男性よりも、参加の意向が高くなっている。

【一般市民】



「健康診断が定期的に行われている」が、全体の約3/4の事業所で行われているほか、「喫煙対策を実施している（分煙，自動販売機の撤去など）」「リラックスできるような音楽を流したり、植物を多く置いたりしている」「休暇取得や残業時間の配慮など、ストレスや過労を防ぐ取り組みがされている」が、それぞれ約6割の事業所で行われている。少ないものとしては、「心の悩み等健康について相談窓口がある」が、半数以下となっている。

それらに対する満足度として、6割を超えているものは、「健康提起診断」のみであり、特に、「スポーツやレクリエーションが開催されたり、スポーツ施設を安く利用できる制度がある」「心の悩み等健康について相談窓口がある」「保養所がある、または、保養施設を安く利用できる制度がある」「1日1回以上は、職場体操を行っている」では、満足度が特に低く、2~3割にとどまっている。

【一般市民】

職場における取り組み・健康管理の実施状況とその満足度

(会社づとめ・自営業・公務員の人のみ、N=1,888)

単位：%

	実施状況		満足度 (「行かたつこる」も のじつじつのみ)
	行われていない	行われている	
ア) 健康診断が定期的に行われている	18.6%	<b>74.3%</b>	<b>64.8%</b>
イ) 産業医や保健婦,看護婦がいる	36.3%	52.5%	38.1%
ウ) スポーツやレクリエーションが開催されたり, スポーツ施設を安く利用できる制度がある	34.2%	55.3%	<b>31.4%</b>
エ) 喫煙対策を実施している(分煙,自動販売機の 撤去など)	29.0%	<b>60.2%</b>	44.9%
オ) 心の悩み等健康について相談窓口がある。	39.6%	<b>49.2%</b>	<b>21.8%</b>
カ) リラックスできるような音楽を流したり, 植物を多く置いたりしている	30.1%	<b>59.5%</b>	34.7%
キ) 保養所がある,または,保養施設を安く利用 できる制度がある	32.7%	56.0%	<b>31.3%</b>
ク) 1日1回以上は,職場体操を行っている。	38.0%	51.3%	<b>25.7%</b>
ケ) 休暇取得や残業時間の配慮など,ストレスや 過労を防ぐ取り組みがされている	30.3%	<b>58.8%</b>	35.6%
コ) 健康情報が提供されている	31.5%	57.2%	35.3%

\* 「満足度」は、「満足している」「まあ満足している」の合計値です。